平成３０年度愛媛県中学校新人体育大会
兼　第１２回愛媛県新人アスリート強化育成大会（バレーボール競技）
≪開催の詳細≫

日程・競技・審判・会場使用に関する内容を、チーム関係者及び、応援の保護者などにも、必ず周知・徹底しておいてください。

１　期　日　平成３０年１１月１０日（土）・１１日（日）

２　会　場　男子：八幡浜市民スポーツセンター　（Ａ・Ｂ・Ｃコート）
　　女子：伊方スポーツセンター　（Ｄ・Ｅ・Ｆコート）

３　開会式　１０日（土）９：１５**（第１試合に関わるチームのみ参加）**

４　閉会式　１１日（日）競技終了後（ベスト４のチームが参加）

５　日　程　１１月１０日（土）
　８：１５　開館（入館できます）
　８：３０　開場（フロアー開放）
　９：１５　開会式
　　開会式終了から第１試合のチームのみコートを使用して練習
　９：３０　第１試合プロトコール
　　競技終了後　決勝トーナメントの抽選会

　１１月１１日（日）
　８：１５　開館（入館できます）
　８：３０　開場（フロアー開放）
　９：１０～９：２５　第１試合優先でコート使用
　９：３０　第１試合プロトコール
　１５：００　閉会式

６　競技規定
（１）　出場チームは各郡市の代表とし、その数は競技別・地区別出場基準による。
（２）【男子】　グループ戦及び決勝リーグ方式とし、すべて３セットマッチで行う。
　【女子】　グループ戦及び決勝トーナメント方式とし、すべて３セットマッチで行う。
（３）　決勝戦及び３・４位決定戦を実施する。
（４）【男子】　１日目のグループ戦は、３チームのリーグ戦とし、各リーグ戦の**上位１チーム**が、２日目に進出できるものとする。（６チームが２日目に残ることになる。）
　【女子】　１日目のグループ戦は、３チームのリーグ戦と４チームのチェーンリーグとし、３チームのリーグ戦は**上位１チーム**、４チームのチェーンリーグは**上位２チーム**が、２日目に進出できるものとする。（８チームが２日目に残ることになる。）
（５）　男女とも、１日目のグループ戦は、３セット目１５点でゲームセットとする。
（６）　**２日目の抽選は、１１月１０日競技終了後、各会場で行う。**

７　競技運営上の確認事項
（１）　競技は、２０１８年度(公財)日本バレーボール協会６人制競技規則及び、２０１８年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部６人制競技規則の取り扱いに準ずる。
　①　リベロ・プレーヤーは、試合ごとに２名まで登録することができる。**（県中体連ホームページ掲載の資料参照）**
　②　ネットの高さは、男子２ｍ３０ｃｍ、女子２ｍ１５ｃｍとする。
　③　ボールは４号球で、人工皮革・カラーボールとする。(男子：モルテン V4M5000、女子：ミカサ MVA400)
　④　給水のためのタイムアウトは採用しない。

（2） 本大会の競技運営は、全試合「追い込み」で行う。試合間は、合同練習を含んで１０分程度とする。但し、試合が続く場合は前の試合が２セットで終了したときは１５分、３セットで終了したときは２０分の休息をとり、その後合同練習に入る。
（3） 合同練習を含む試合間の練習は、隣のコートにボールが飛び込まないような練習とする。（ネットは使用できない。）
（4） 試合コート及びフロアーでのボール使用は、試合間、合同練習、公式練習、セット間（フリーゾーン後方のみ）以外は認めない。また、ロビーなどでのボール使用は禁止するものとし、他は会場使用規定に従う。
（5） 公式練習は６分間とする。合同で公式練習をしない場合は、各チーム３分間とする。
（6） **公式練習において、登録されていない選手が、防球フェンス的役割で他コートへのボール侵入を防ぐためにコート際へ立つことができる。ただし、監督やコーチへの球渡し（球出し）やエントリー選手とのパス相手は厳禁とする。（平成３０年度より）**
（7） ベンチ及びフロアーには、登録された監督・コーチ・マネージャー及び選手以外は入ることができない。監督は当該校の校長・教員・部活動指導員であり、引率者としての責任を負う。
　コーチが外部指導者（コーチ）の場合は、当該校の校長が認めたもので、外部指導者（コーチ）証をつけること。
※　外部コーチ章がない場合は、ベンチに入ることができない。
（8） 監督・コーチのベンチマナーについては、十分留意すること。
（9） 監督・コーチ・マネージャーは、規定のマークを左胸部につけること。
※　規定の章がない場合は、ベンチに入れない。
※　チームキャプテンは、胸のナンバーの下に規定のマークをつけること。
(10) 監督・コーチの服装は、統一されたものが望ましい。**（短パン・ランニングは不可）**
(11) ユニフォームについては、規定を遵守すること。**（県中体連ホームページ掲載の資料参照）**
(12) エントリーの変更・訂正は、**当該チームの、本大会における第１試合の前までに、（注）所定の変更届を提出すること。**これ以外の変更は、如何なる場合も受け付けない。
（注）所定の変更届とは、県中体連より提示された物である。校長印が必要なので注意すること。
(13) 開会式・閉会式について
① 登録メンバー以外の選手の参加を認める。
② 参加する選手は、統一したユニフォームを着用すること。ただし、登録メンバー以外の選手は、学校指定の体操服などでもよい。
(14) その他
① ベンチスタッフ以外は、応援席などからサイドコーチをすることはできない。
② 試合中、ベンチには、競技に必要ない物を持ち込むことはできない。（マスコットやうちわ等）
③ 応援時のメガホン・ペットボトル等の使用は認めるが**太鼓の使用は認めない**。ただし、音量や応援の方法が試合運営に支障があると判断した場合は、試合途中であっても使用中止にする場合もある。
④ **応援のマナーや、会場使用に関するマナーを守ること。**
⑤ 「ラインジャッジ」及び「得点係」は、**チーム相互で行う。**
⑥ **競技運営上の問題については、本大会競技委員会で合議し、最終判断する。**

8　審判上の注意事項
（1） 試合開始及び終了のあいさつ後、チームキャプテンは、主審・副審に握手をしてあいさつする。
（2） ウォーム・アップ・ゾーンを設ける。但し、ゾーン内でのボールの使用は禁止する。
（3） セット間はフリーゾーンでボールを使用してもよいが、パス程度とする。
（4） スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。(相手チームに向かってのガッツポーズ等)
（5） ボールがデッドになった時点での不必要なコート外への飛び出しは、遅延行為とみなされる場合があるので行わないこと。
（6） ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールの処理は速やかに行うこと。
（7） タイムアウトは、ベンチから立ち上がってコールしながらオフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求すること。
（8） 試合中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。モップの使用については、タイムアウト中と、セット間及び審判が危険と判断した場合のみに自チームで行うこと。
（9） 給水のためのタイムアウトは採用しない。

≪競技方法≫【男子】

1　グループ戦

（1）組み合わせ

①　代表チームをU・V・W・X・Y・Zの６グループに振り分ける。

②　同一郡市のチームは、別のグループに分ける。

③　各郡市の１位～４位は、６グループにバランスよく振り分ける。

（2）競技方法

※　３セットマッチで実施するが、３セット目は１５点でゲームセットとする。

≪３チームのリーグ戦≫

試合順は以下の通りとし、抽選によって決定する。

①A－B　　②C－①の負　　③C－①の勝	※「A・B・C」：チーム ※「①・②・③」：試合順

最終順位を、以下の４項目の順で決定する。

①　勝率　　②　セット率　　③　得失点率　　④　直接対決

※　６チームが２日目に残ることになる。

2　決勝リーグ戦及び順位決定戦

（1）決勝リーグ組み合わせ（６チームを３チーム×２グループに分けて決勝リーグを行う。）

①　グループ戦１位のチームを、１／２に分けて均等になるように抽選する。

※　同一郡市の４チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分けて１位・４位－２位・３位とする。

※　同一郡市の３チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分けて１位－２位・３位とする。

※　同一郡市の２チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分ける。

（2）決勝リーグ戦の試合順は以下の通りとし、抽選によって決定する。

①A－B　　②C－①の負　　③C－①の勝	※「A・B・C」：チーム ※「①・②・③」：試合順

最終順位を、以下の４項目の順で決定する。

①　勝率　　②　セット率　　③　得失点率　　④　直接対決

（3）順位決定戦

決勝リーグ１位同士の決勝戦と、決勝リーグ２位同士の順位決定戦を実施する。

【各郡市代表チーム数】

東予				中予			南予					
四国中央	新居浜	西条	今治越智	松山	東温上浮穴	伊予	大洲喜多	八幡浜西宇和	西予	宇和島北宇和	南宇和	合計
2	2	2	2	4	1	1	0	1	1	1	1	１８

≪競技方法≫【女子】

1　グループ戦

（1）組み合わせ

①　代表チームをＴ・Ｕ・Ｖ・Ｗ・Ｘ・Ｙ・Ｚの７グループに振り分ける。

②　同一郡市のチームは、別のグループに分ける。

③　各郡市の１位～４位は、７グループにバランスよく振り分ける。

（2）競技方法

※　３セットマッチで実施するが、３セット目は１５点でゲームセットとする。

≪３チームのリーグ戦≫

試合順は以下の通りとし、抽選によって決定する。

①Ａ－Ｂ　②Ｃ－①の負　③Ｃ－①の勝	※「Ａ・Ｂ・Ｃ」：チーム ※「①・②・③」：試合順

最終順位を、以下の４項目の順で決定する。

①　勝率　②　セット率　③　得失点率　④　直接対決

≪４チームのチェーンリーグ≫

試合順は以下の通りとし、抽選によって決定する。

①Ａ－Ｂ　②Ｃ－Ｄ　③Ａ－Ｃ　④Ｂ－Ｄ	※「Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」：チーム ※「①・②・③・④」：試合順

最終順位を、以下の５項目の順で決定する。

①　勝率　②　セット率　③　得失点率　④　直接対決　⑤　抽選

※　８チームが２日目に残ることになる。

2　決勝トーナメント

（1）組み合わせ（①の抽選時に、②を考慮する。）

①　グループ戦１位のチームを、１／４に分けて均等になるように抽選する。

※　同一郡市の４チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分けて１位・４位－２位・３位とする。

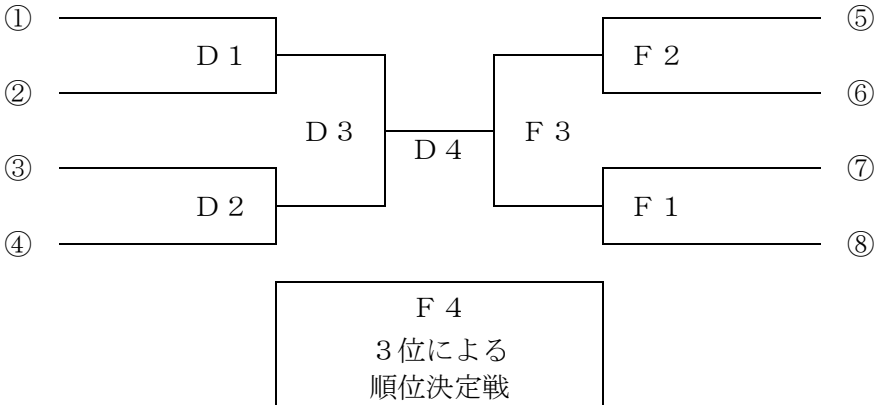
※　同一郡市の３チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分けて１位－２位・３位とする。

※　同一郡市の２チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分ける。

②　グループ戦２位のチームは、同一グループ１位のチームの反対ゾーンに入る。

※　同一郡市のチームは、１回戦で対戦しないように最大限配慮する。

≪女子決勝トーナメントの基本型≫



【各郡市代表チーム数】

東予				中予			南予					
四国中央	新居浜	西条	今治越智	松山	東温上浮穴	伊予	大洲喜多	八幡浜西宇和	西予	宇和島北宇和	南宇和	合計
1	2	2	2	4	1	2	2	2	1	2	1	２２

≪抽選方法≫【男子】

1　グループ戦の抽選について

（1）抽選方法

① 代表チームをU・V・W・X・Y・Zの６グループに振り分ける。

② 同一郡市のチームは、別のグループに分ける。

③ 各郡市の１位～４位は、試合順やバランスを考慮し、４グループに以下のとおり振り分ける。

１位：１１チーム　　２位：５チーム　　３位：１チーム　　４位：１チーム

Uグループ	３チーム	UA（１位）	UB（２位）	UC（１位）
Vグループ	３チーム	VA（１位）	VB（２位）	VC（１位）
Wグループ	３チーム	WA（１位）	WB（２位）	WC（１位）
Xグループ	３チーム	XA（１位）	XB（３位）	XC（１位）
Yグループ	３チーム	YA（１位）	YB（４位）	YC（１位）
Zグループ	４チーム	ZA（１位）	ZB（２位）	ZC（２位）

（2）抽選順序（同数の場合、３０年度は中予→南予→東予の順で抽選する。）

① 代表チームの多い郡市から、抽選方法①・②・③を満たすように抽選する。

【各郡市代表チーム数】

東予				中予			南予					
四国中央	新居浜	西条	今治越智	松山	東温上浮穴	伊予	大洲喜多	八幡浜西宇和	西予	宇和島北宇和	南宇和	合計
2	2	2	2	4	1	1	0	1	1	1	1	１８

2　決勝リーグの抽選について（６チームを３チーム×２グループに分ける。）

（1）抽選方法

① グループ戦１位のチームを、１／２に分けて均等になるように抽選する。

※ 同一郡市の４チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分けて１位・４位－２位・３位とする。

※ 同一郡市の３チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分けて１位－２位・３位とする。

※ 同一郡市の２チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分ける。

（2）抽選順序（同数の場合、３０年度は中予→南予→東予の順で抽選する。）

① グループ戦１位のチームが、チーム数の多い郡市から抽選方法①によって抽選する。

決勝Ｓグループ（Ａコート）

①Ａ－Ｂ　②Ｃ－①の負　③Ｃ－①の勝	※「Ａ・Ｂ・Ｃ」：チーム ※「①・②・③」：試合順

決勝Ｔグループ（Ｃコート）

①Ａ－Ｂ　②Ｃ－①の負　③Ｃ－①の勝	※「Ａ・Ｂ・Ｃ」：チーム ※「①・②・③」：試合順

3　決勝戦及び順位決定戦

Ａコート　Ｓグループ１位　対　Ｔグループ１位

Ｃコート　Ｓグループ２位　対　Ｔグループ２位

≪抽選方法≫【女子】

1　グループ戦の抽選について

（1）抽選方法

① 代表チームをＴ・Ｕ・Ｖ・Ｗ・Ｘ・Ｙ・Ｚの７グループに振り分ける。

② 同一郡市のチームは、別のグループに分ける。

③ 各郡市の１位～４位は、試合順やバランスを考慮し、７グループに以下のとおり振り分ける。

１位：１２チーム　　２位：８チーム　　３位：１チーム　　４位：１チーム

Ｔグループ	３チーム	ＴＡ（１位）	ＴＢ（２位）	ＴＣ（１位）	
Ｕグループ	３チーム	ＵＡ（１位）	ＵＢ（２位）	ＵＣ（１位）	
Ｖグループ	３チーム	ＶＡ（１位）	ＶＢ（３位）	ＶＣ（１位）	
Ｗグループ	３チーム	ＷＡ（１位）	ＷＢ（４位）	ＷＣ（１位）	
Ｘグループ	３チーム	ＸＡ（１位）	ＸＢ（２位）	ＸＣ（２位）	
Ｙグループ	３チーム	ＹＡ（１位）	ＹＢ（２位）	ＹＣ（２位）	
Ｚグループ	４チーム	ＺＡ（１位）	ＺＢ（２位）	ＺＣ（２位）	ＺＤ（１位）

（2）抽選順序（同数の場合、３０年度は中予→南予→東予の順で抽選する。）

① 代表チームの多い郡市から、抽選方法①・②・③を満たすように抽選する。

【各郡市代表チーム数】

東予				中予			南予					
四国中央	新居浜	西条	今治 越智	松山	東温 上浮穴	伊予	大洲 喜多	八幡浜 西宇和	西予	宇和島 北宇和	南宇和	合計
1	2	2	2	4	1	2	2	2	1	2	1	２２

2　決勝トーナメントの抽選について

（1）抽選方法（①の抽選時に、②を考慮する。）

① グループ戦１位のチームを、１／４に分けて均等になるように抽選する。

※ 同一郡市の４チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分けて１位・４位－２位・３位とする。

※ 同一郡市の３チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分けて１位－２位・３位とする。

※ 同一郡市の２チームがグループ戦１位の場合は、１／２に分ける。

② グループ戦２位のチームは、同一グループ１位のチームの反対ゾーンに入る。

※ 同一郡市のチームは、１回戦で対戦しないように最大限配慮する。

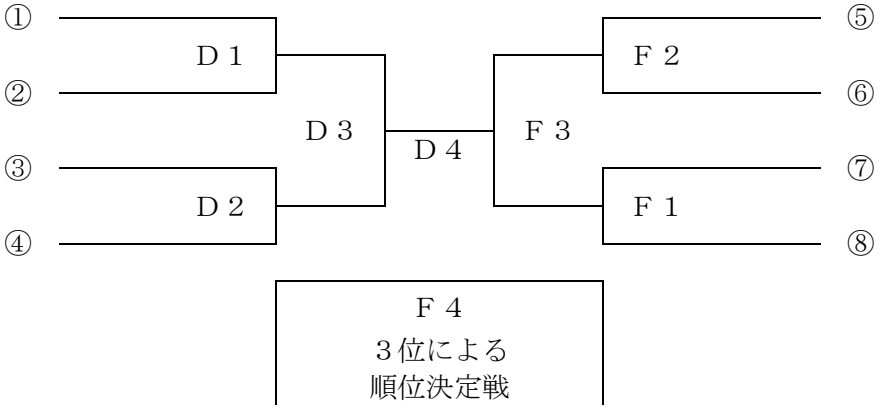
（2）抽選順序（同数の場合、３０年度は中予→南予→東予の順で抽選する。）

① グループ戦１位のチームが、チーム数の多い郡市から抽選方法①によって抽選する。

② グループ戦２位のチームが、抽選方法②によって抽選する。

※ １チームしかないので、①の抽選時に注意する。

≪女子決勝トーナメントの基本型≫



平成２８年８月２５日
（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部

『リベロリプレイスメント』改正点について

（公財）日本中体連バレーボール競技部では、平成２９年度全国宮崎大会より一般と同様の『リベロリプレイスメント』ルールの適用を実施する。

改正点については、以下の通りである。

1　チームの構成

4.1.1　試合のために１チームは１２人までの選手と、さらに次のスタッフで構成することができる。

（解説）

１２名以下の場合は、０～２名のリベロ・プレーヤーを登録することができる。全国大会では、中体連は常に１２名以下の選手で構成される。

2　リベロリプレイスメント（入れ替え）

19.3.2.2　通常のリプレイスメントをする選手は、いずれのリベロとも入れ替わってコートに出入りすることができる。**アクティングリベロが入れ替わることができるのは、もともと入れ替わっていた選手またはセカンドリベロのみである。**

（解説）

リベロ・プレーヤーの交代方法で下記のパターンは認められるが、②の場合、★と☆が同時に行われることは認められない。

①	②	③	④
Ｎｏ.３→Ｌ１	Ｎｏ.３→Ｌ１	Ｎｏ.３→Ｌ１	*第２セット開始時
Ｌ１→Ｌ２	★Ｌ１→Ｎｏ.３	Ｌ１→Ｌ２	Ｎｏ.３→Ｌ２
Ｌ２→Ｎｏ.３	☆Ｎｏ.４→Ｌ２	Ｌ２→Ｌ１	Ｌ２→Ｌ１
	Ｌ２→Ｎｏ.４	Ｌ１→Ｎｏ.３	Ｌ１→Ｎｏ.３

※Ｌ１、Ｌ２はリベロを示す

3　新しいリベロの再指名

19.4.1　リベロの負傷や病気、退場、失格によりプレーすることができなくなることがある。監督は、いかなる理由であってもリベロがプレーできなくなったことを宣言することができる。

19.4.2　リベロが１人の場合は、その時点(監督がリベロの続行不可能と宣言した時点)でコート上にいない(リベロと入れ替わった選手を除く)他の選手を、試合終了までリベロとして再指名することができる。しかし、続行不可能と宣言されたリベロは、その試合の残りはプレーすることができない。

19.4.3　リベロが２人の場合は、そのうちの１人がプレーできなくなっても、リベロ１人で試合することができる。

（解説）

平成 28 年度までの中体連の取り扱いでは、２人のリベロが何らかの事由により続行不可能と宣言された場合には、再指名を行うことができたが、今回の改正により、一般と同様に取り扱うこととした。

したがって、リベロが２人の場合は、２人のリベロの両者が続行不可能と宣言された場合のみ、再指名することができる。（リベロが１人の場合は、そのリベロが続行不可能と宣言された場合に再指名することができる。）

4　リベロに関わる動作

中体連におけるリベロプレーヤーシステム導入以来、何の変更もない。

このことは、今までと同じ「プレーの動作（19.3.1）」の取り扱いを意味する。

以上

２０１６年8月２５日
(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部

(公財)日本中体連における『リベロリプレイスメント』の変更についての付則

中体連では『リベロプレーヤーシステム』について 2004 年度に付則を作成し、全国規模で周知・徹底を図ってきました。しかし、2012 年度から高体連においても、一般のチーム同様の『リベロリプレイスメント』が採用されたことなども踏まえ、2017 年度の全国大会より一般のチーム同様の『リベロリプレイスメント』を採用することとしました。そこで、スムーズに移行ができるよう「付則」を見直し、資料として配付することにしました。

１．試合開始前の手続き

（１）記録用紙に関して

監督は、試合開始前、記録用紙に記載される選手の中からリベロを指名し記録員に伝え、記録員が記入した後、チェックしサインを記録用紙に記入する。
（リベロは、試合ごとに変更することができる。）

⟶ 記録員は、チーム登録として記載した１２名の選手名にしたがって、監督から指名されたリベロの名前を転記する。その際、１２名の選手名は**消さない。**

（２）リベロの服装に関して

リベロは、チームの他の選手と**対照的な色のユニフォーム**（ユニフォームのデザインは異なっていてよい）、または、ビブス（ゼッケンのようなもの：このビブスは、高さ１５ｃｍ以上の「Ｌ」の文字をつける）を着用しなければならない。
また、リベロが２名いる場合は、他のチームメンバーと同様に、２名が異なった番号を付けるか、『ビブス』の色を変える必要がある。

⟶ **①対照的なユニフォーム・・対照的とは「互いに対立する２つの要素がきわだつこと」であり、色の明るさに関係している。**

※例えば、正規の選手のユニフォームの袖が黒、胸背部が白とした場合、リベロのそれが、袖が白で胸背部が黒というものは対照的とは言えず、認められない。

⟶ ②チームのユニフォームに関して、認められる例。

※正規のメンバーを１番～１０番、リベロ２名が１１番と１２番とした場合。
１）正規のメンバーが白、リベロ２名が赤。
２）正規のメンバーが白、リベロ１１番が赤、リベロ１２番が紺。
３）正規のメンバーが白、リベロ１１番が赤のビブス、リベロ１２番が黄色のビブス。
４）正規のメンバーが白、リベロ１１番が赤、リベロ１２番が黄色のビブス。
＜できれば、１）か３）が望ましい。＞

⟶ ③リベロがビブスを使用する場合：公式練習が終了してから、ビブスを着用する。

（３）アシスタントスコアラー及び、リベロコントロールシートに関して

中体連では、アシスタントスコアラーを生徒役員が務める場合、２名の生徒役員で各チーム担当を決めリベロチェックを行うこととする。
なお、リベロコントロールシートは、生徒役員がチェックしやすい、中体連独自で作成したものを使用する。（日本中体連バレーボール競技部ホームページに掲載）

２．試合中

（１）適用される罰則について

リベロは、ラリーの完了から次のサービス許可のホイッスルの前までに交代しなければならない。（サービス許可のホイッスル後に交代することは、拒否されないが口頭で注意される。同一試合中に繰り返した場合は、遅延の制裁の対象となる。）

⟶　①主審は、サービス許可のホイッスル前に、両チームの状況を正しく把握する必要がある。万が一、チームが５名あるいは７名になっている状況では、チームに正しいポジションになるように笛を用いて指導する。

⟶　②サービス許可のホイッスル後、サービスの実行前にリベロの交代が行われた場合
⟹そのラリー終了後に、当該チームのゲームキャプテンを審判台の下に呼び、口頭で注意（「サービス許可のホイッスル後のリベロの交代は、遅延　行為となる。この試合で再び繰り返せば『遅延の制裁』を与えることになる」旨）を伝える。

⟶　③サービス許可のホイッスル後、サービスの実行後にリベロの交代が行われた場合
⟹ポジションに関する反則を適用する。

（２）リベロの交代でよく起こる反則となるケースについて

リベロが交代してベンチに戻ったら、ワンラリー終了しないと、同じリベロは再び交代してコート内に入ることはできない。

⟶　①ベンチに戻ったらとは･･･コートに入るときに代わった正規の競技者（リベロが２名の場合はもう１名のリベロとの交代もある）と再び交代して、コートを離れることを意味しており、実際にベンチに座ることを示すものではない。従って、サイドライン近くで立って待っている場合も含まれる。
　但し、代わるべき選手を間違ったときなどは、サービス許可のホイッスル前であればノーコントロールとする。また、中体連では、交替選手の誤りなどを事前に発見した場合、教育的指導のために『サービス許可のホイッスル前』に罰則を適用することなく訂正させる。インプレー後に発見された場合は、反則として処置する。

⟶　②○：フロントプレーヤー/□：バックプレーヤー/リベロ：Ｌ１だけ

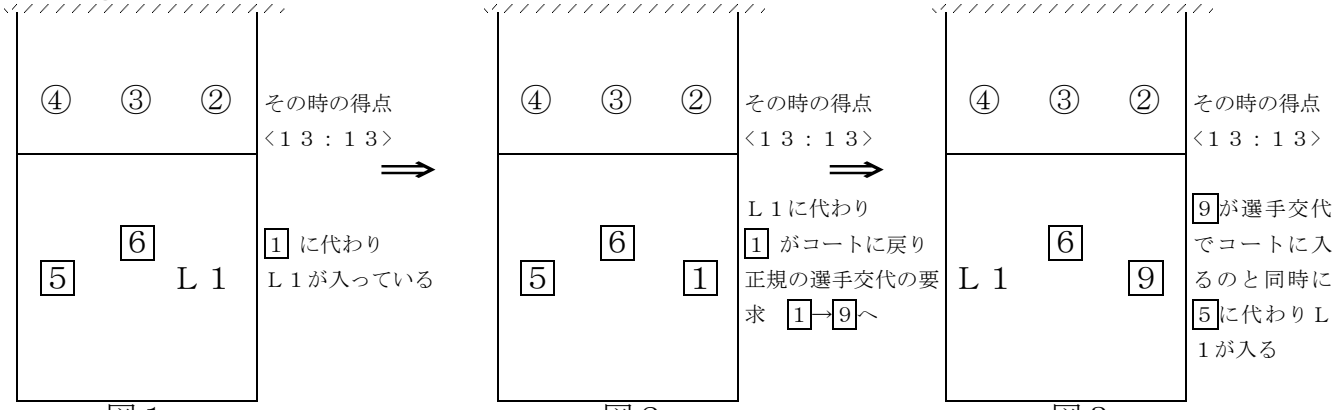


図１　図２　図３

＊ １３：１３の時点で、既に 1 に代わりリベロ１がコート内にいる。　（図１）
＊ 1 に代えて 9 をコート内に入れたいためにリベロ１と 1 を再び代える。　（図２）
＊ １３：１３の同一中断中に 1 に代えて 9 の選手交代を要求するのと同時に
5 に代えてリベロ１がコート内に再び入る。　（図３）

☆＜処置の仕方＞　原則：リベロの反則はチームの責任である。

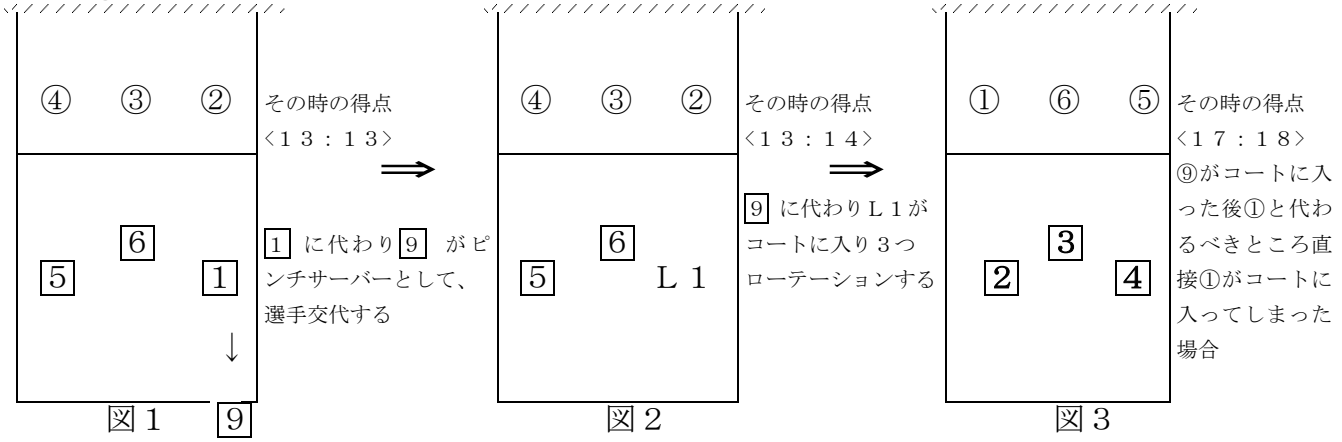
ⅰ)アシスタントスコアラーの指摘は、中体連では教育的指導のために『サービス許可のホイッスル前』に行い、罰則を適用することなく訂正させる。

ⅱ)アシスタントスコアラーのいない場合で､主副審のいずれかが発見した場合もⅰ)と同様に処置する。

ⅲ)審判団が発見できず、サービスの実行後に発覚した場合は、ポジションの反則として処置する。

ⅳ)審判団が発見できず、試合が続行した場合は、何の反則も適用しない。

⟶　③○：フロントプレーヤー/□：バックプレーヤー/リベロ：Ｌ１だけ



☆＜処置の仕方＞　原則：リベロの反則はチームの責任である。

ⅰ)アシスタントスコアラーの指摘は、中体連では教育的指導のために『サービス許可のホイッスル前』に行い、罰則を適用することなく訂正させる。

ⅱ)アシスタントスコアラーのいない場合で､主副審のいずれかが発見した場合もⅰ)と同様に処置する。

ⅲ)審判団が発見できず、サービスの実行後に発覚した場合は、ポジションの反則として処置する。

ⅳ)審判団が発見できず、ローテーションが繰り返され 9 がサーバーとなるべきところで、 1 がサーバーに出てきて、記録用紙から発覚した場合は、規則７.７.１・２に則り、罰則を適用する。

（３）リベロの交代する場所について

リベロおよびリベロと交代する選手は、チームのベンチ前のアタックラインとエンドラインの間のサイドライン（“リプレイスメントゾーン”と名付けられている）からコートに出入りする。

⟶　①中体連では、１チームにつき最大限１２名までの登録ができる。その１２名のうちリベロとしての登録は０・１・２名のいずれかをチームが選択する権利を持っている。
これまでの取り扱いにおいては、リベロの交代に際して２組４名がリプレイスメントゾーンに並ぶことがあったが、今後の取り扱いでは認められない。
しかし、リベロ同士が交代することもあることなどから、チェックミスを防止するため、これまで同様、リベロと相対する競技者は、必ずサイドライン上で一旦立ち止まる(つま先をそろえる)ように指導を継続する。

⟶　②サイドライン上で一旦立ち止まらずに交代してしまう場合の処置
＊その場でやり直しをさせたりせず、間髪入れずに「止まる」ように指導する。
＊指導後も繰り返される場合でも、罰則は与えず指導を行う。
＊エンドラインから交代などの場合も指導する。

全国大会参加チームのユニフォームの規定について　2016.11.26 改訂

公益財団法人日本中学校体育連盟バレーボール競技部

1　ユニフォーム

① ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）とショーツ（パンツ）を指す。
競技者はジャージをショーツの中に入れて競技を行う。

② ユニフォームの色及びデザインは、チームで統一されなければならない。
また、ソックスはくるぶしが完全に隠れる長さであること。尚、ソックスについては、色及びデザインがチームで統一されていることが望ましい。

③ リベロプレーヤーはチームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色（左右対称・上下対称・表裏対称等ではなく、はっきりと区別できるデザインであること）のユニフォーム（少なくともジャージ（シャツ）だけは）を着用するか、もしくはチームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色のビブスを着用しなければならない。

2　競技者番号

① 対照的な色と明るさで、胸部中央と背部中央に明確に表示されなければならない。

② 競技者番号は１～２０番まで（１～１２番が望ましい。）とする。（やむえない場合１～９９番まで認める。）

③ 競技者番号のサイズは、胸部中央は高さ１０～１５㎝で字幅２㎝以上、背部中央は高さ１５～２０㎝で字幅２㎝以上とする。

④ ショーツ（パンツ）前面右下に、高さ４～６㎝、字幅１㎝以上の競技者番号を付けてもよいが、全員がそろっていなければならない。

3　チームキャプテンチームキャプテンは、胸部中央の選手番号の下に、長さ８㎝、幅２㎝のマークを、ジャージ（シャツ）と異なった色で付けなければならない。

4　チームネーム

① ジャージ（シャツ）の胸部もしくは背部には、正式な学校名またはその略称をつけなければならない。略称は、明らかに正式な学校名がわかるものとする。特にナンバースクールや、学校名に東西南北のついている学校においては、市町村名が明確であること。

［略称の解釈］

（１）ナンバースクール・東西南北の中学校は、チームネームに市町村名を使用しなければならない。
但し、「○○立」を省略しても構わない。

「例：ナンバースクール」		「例：東西南北」	
交野市立第三中学校（正式名称）	○	大阪市立西中学校（正式名称）	○
交野市立第三	○	大阪市立西	○
交野三・交野３・交野Ⅲ	○	大阪西	○
ＫＡＴＡＮＯ３・ＫＡＴＡＮＯⅢ	○	ＯＳＡＫＡ　ＷＥＳＴ	○
交三・交３・交Ⅲ	×	大西・西・ＷＥＳＴ	×

（２）ナンバースクール・東西南北以外の中学校は、チームネームに市町村を使用しなくてもよい。
但し、「○○立」を省略しても構わない。

［例］大阪市立山田中学校（正式名称）	○
大阪市立山田	○
山田中学校	○
山田	○
大阪山田	○

② ジャージ（シャツ）に都道府県名を付ける場合は、左右どちらかの袖一カ所とする。
ジャージ（シャツ）に袖がない場合には、胸部左あるいは背面中央襟下に付けることとする。

5 その他の表示

上記２～４以外のものでユニフォームに付けられるものは、校章のみとする。ただし、胸部のみとする。

［特例］正式に申し入れがあり協議の上認められた北海道の地図の形のマークは、北海道チームのみ袖に付けることができる。ただし、「北海道」あるいは「HOKKAIDO」などの文字を入れるものとする。袖がない場合には、胸部左あるいは背面中央襟下に付けることとする。

※スポーツメーカーのロゴは例外、消す必要はない。

6 アンダーウェア等について

① アンダーウェアは個人あるいはチーム全員であっても、ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
② 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険がある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
③ 明らかに色が違う腰に巻くサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

7 ハチマキ

ハチマキやサポーター類は、ユニフォームに準ずるものとし、刺繍等の表記は学校名のみとする。

8 チーム役員の服装

① チーム役員は、ジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
② 監督がジャケットを着用し、その他のチーム役員が統一された服装であれば許可される。
③ 統一された服装であっても、短パン、ハーフパンツは許可されない。
④ マネージャーは生徒のため、①～③はマネージャーには適応されない。

9 合同チームのユニフォーム

① いずれか１チームのユニフォーム（リベロプレーヤーも含む）を使用する。
② 合同チームとしてのユニフォームの使用も認める。ただし、上記１～７を満たしていることを条件とする。（チームネームは、ジャージ（シャツ）の胸部もしくは背部には、合同チーム全ての正式な学校名またはその略称をつけなければならない。）

競技委員会資料

大会使用球に関して

○奇数年度（平成２９・３１年）男子モルテン V4M5000・女子ミカサ MVA400
○偶数年度（平成３０・３２年）女子モルテン V4M5000・男子ミカサ MVA400

監督会議出席の服装に関して

○平成２３年７月３日確認文書「全国中学校体育大会 全日本中学校バレーボール選手権大会「監督会議・決勝トーナメント抽選会に出席される監督の服装に関して」の文書の基づく（公財）日本中体連バレーボール競技部発行

※ビーチサンダルやランニングシャツ・短パン等での出席を控える。（禁止とする。）

平成30年度愛媛県中学校新人体育大会
兼　第12回愛媛県新人アスリート強化育成大会
《 男子バレーボール競技参加チームへの連絡 》

１１月１０日・１１日（八幡浜市民スポーツセンター会場）

１　日程について

１１月１０日（土）		大会１日目
	【 ７：３０～　会場準備・確認（役員） 】	
８：１５	開館（入場開始、観覧席を開放します。フロアーには入れません）	
８：３０	開場（フロアーを開放します。）	
９：１５	**開会式（第１試合に関わるチームのみ参加）**	
	開会式終了から第１試合のチームのみコートを使用して練習	
９：３０	第１試合プロトコール**（競技終了後、決勝トーナメントの抽選会）**	
１１月１１日（日）		大会２日目
	【 ７：３０～　会場準備・確認（役員） 】	
８：１５	開館（入場開始、観覧席を開放します。フロアーには入れません）	
８：３０	開場（フロアーを開放します。）	
９：１０～９：２５	第１試合のチーム優先でコート使用	
９：３０	第１試合プロトコール	
１５：００	閉会式（ベスト４のチームが参加）	

２　会場使用について

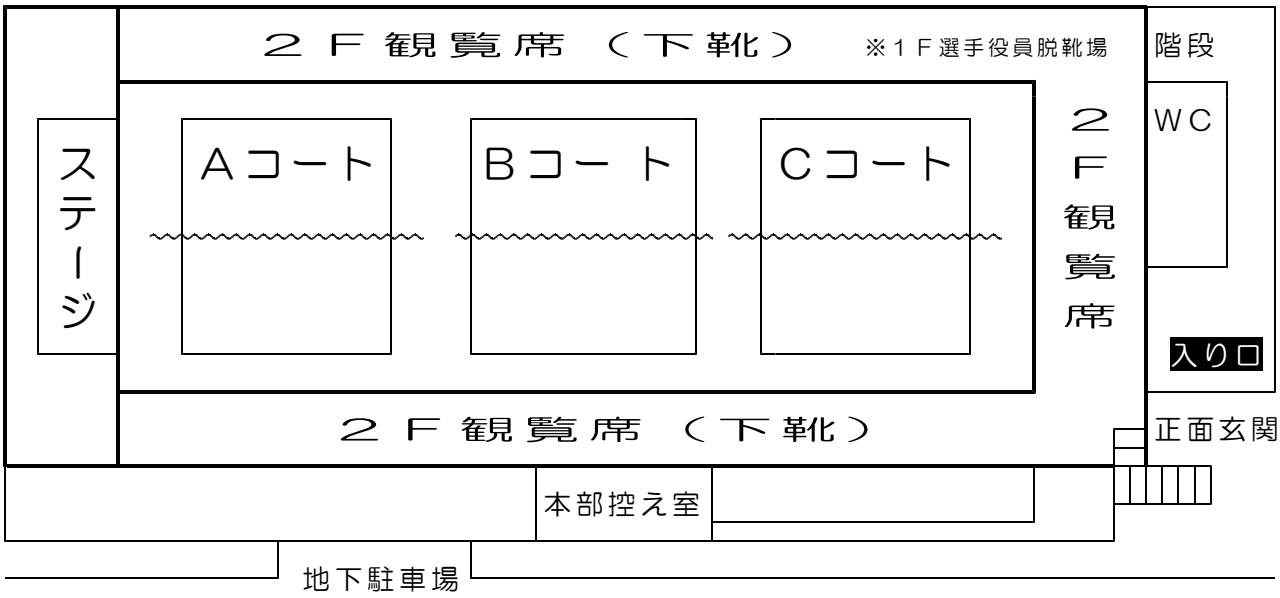
◎　今後も使用する施設ですので、各校で事前指導を十分にお願いします。

◎　保護者への連絡・徹底も必ずお願いします。

①　選手・応援ともに、マナーを守ること。
②　応援時のメガホン・ペットボトル等の使用は認めるが、観覧席の手すり等はたたかないこと。
③　館内の通路や観覧席では、ボールの使用やアップはできない。
④　ベンチでの給水はできるが、それ以外の飲食は観覧席で行うこと。
⑤　**選手は館内は上靴で構いませんが、トイレは専用のスリッパを履くか下靴でお願いします。**
⑥　**下靴は袋に入れて観覧席へ**持っていくこと。（袋は各自が事前に準備）
⑦　傘を使用する場合も、袋に入れ、館内が濡れないようにして観覧席に持っていくこと。
⑧　更衣室は更衣のみに使用し、荷物は観覧席で保管すること。
⑨　ごみは各チームで責任をもって持ち帰ること。
⑩　館内の電源はしようしないこと。（ビデオやポットなど）
⑪　盗難には、十分注意すること。【各チームで貴重品の管理の徹底を！】
⑫　施設内で破損等が生じた場合は、必ず大会本部へ届け出ること。

【男子会場図（アリーナ）】

※八幡浜市民スポーツセンター



【男子会場図（周辺地図）】

※　八幡浜市民スポーツセンター地下駐車場は有料です。近くの商業施設への駐車はご遠慮ください。

【男子会場図（周辺地図）】

男子会場（市民スポーツセンター）

大型バス無料駐車場

※　会場から少し離れていますので、選手を会場に送った後の駐車場所としてご利用ください。周辺商業施設への駐車はご遠慮ください。

平成30年度愛媛県中学校新人体育大会
兼　第12回愛媛県新人アスリート強化育成大会
《 女子バレーボール競技参加チームへの連絡 》

１１月１０日・１１日（伊方スポーツセンター会場）

１　日程について

１１月１０日（土）	大会１日目
【 ７：３０～　会場準備・確認（役員） 】	
８：１５	開館（入場開始、観覧席を開放します。フロアーには入れません）
８：３０	開場（フロアーを開放します。）
９：１５	**開会式（第１試合に関わるチームのみ参加）**
	開会式終了から第１試合のチームのみコートを使用して練習
９：３０	第１試合プロトコール**（競技終了後、決勝トーナメントの抽選会）**
１１月１１日（日）	大会２日目
【 ７：３０～　会場準備・確認（役員） 】	
８：１５	開館（入場開始、観覧席を開放します。フロアーには入れません）
８：３０	開場（フロアーを開放します。）
９：１０～９：２５	第１試合のチーム優先でコート使用
９：３０	第１試合プロトコール
１５：００	閉会式**（ベスト４のチームのみ参加）**

２　会場使用について

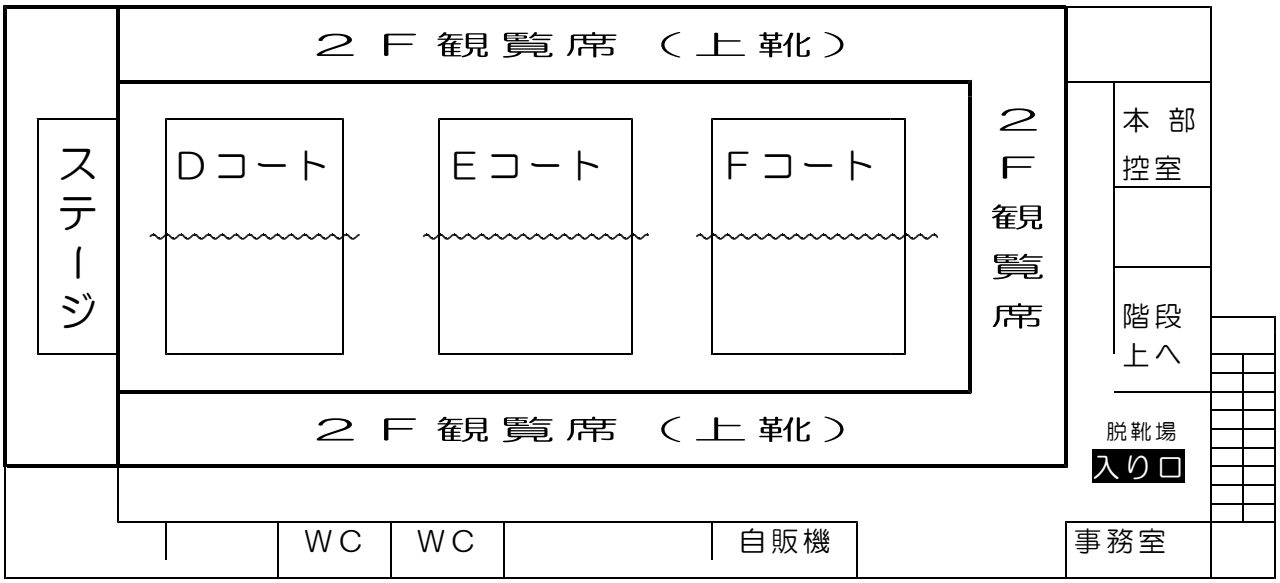
◎　今後も使用する施設ですので、各校で事前指導を十分にお願いします。

◎　保護者への連絡・徹底も必ずお願いします。

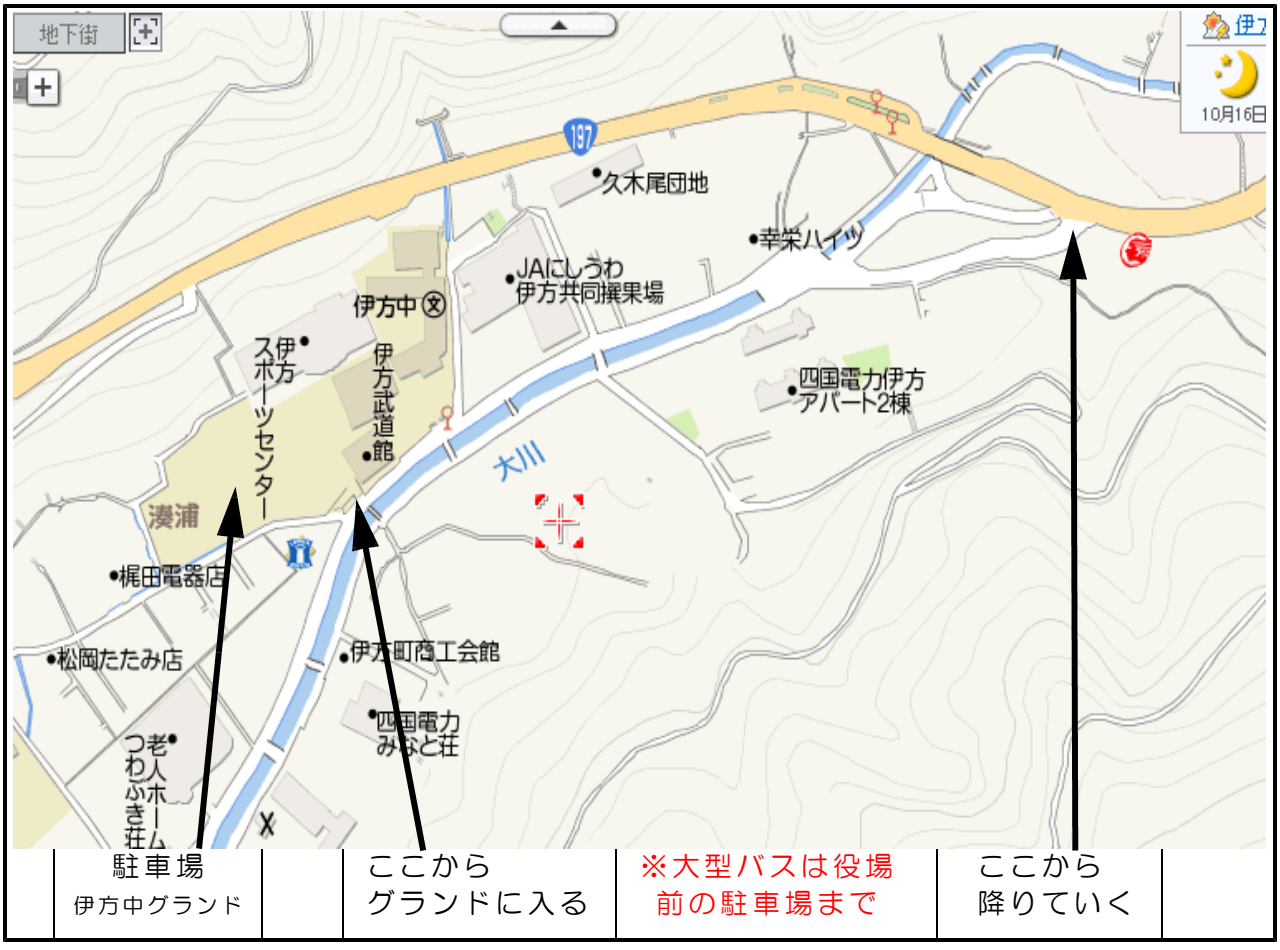
①　選手・応援ともに、マナーを守ること。
②　応援時のメガホン・ペットボトル等の使用は認めるが、観覧席の手すり等はたたかないこと。
③　館内の通路や観覧席では、ボールの使用やアップはできない。
④　ベンチでの給水はできるが、それ以外の飲食は観覧席で行うこと。
⑤　**上靴と下靴の区別をつける**こと。
⑥　**下靴は袋に入れて観覧席へ**持っていくこと。（袋は各自が事前に準備）
⑦　傘を使用する場合も、袋に入れ、館内が濡れないようにして観覧席に持っていくこと。
⑧　更衣室は更衣のみに使用し、荷物は観覧席で保管すること。
⑨　**トイレは、必ずスリッパに履き替える**こと
⑩　ごみは各チームで責任をもって持ち帰ること。
⑪　館内の電源はしようしないこと。（ビデオやポットなど）
⑫　盗難には、十分注意すること。【各チームで貴重品の管理の徹底を！】
⑬　施設内で破損等が生じた場合は、必ず大会本部へ届け出ること。

【女子会場図（アリーナ）】

※伊方スポーツセンター



【女子会場図（周辺地図）】



＊　伊方スポーツセンターの下には駐車できません。

＊　グランド内の指定された場所以外は通行しないでください。